第 114 回 長崎大学ＦＤ実施報告書（平成 27 年 1 月 27 日提出）

１．題　目：必携 PC の講義での活用に関する講習会
「体験する PC 必携化～講義の中での活用～」

２．日　時：　平成 26 年 12 月 18 日（木）　16：10～17：40

３．場　所：　教養教育棟 A-43 教室

４．主　催：ICT 基盤センター

５．対　象：学内教職員

６．長崎大学ＦＤに関する指針第二項への該当について
［　○　］(1)　教員の教育活動に関するもの
［　　］(2)　カリキュラムの改善に関するもの
［　　］(3)　教育の組織的改善に関するもの
［　　］(4)　入学者選抜方法の改善に関するもの
［　　］(5)　その他教育改善及び入学者選抜方法の改善に関するもの

７．今回のＦＤの趣旨・意義
本学では、平成 26 年度入学生より PC 必携化を実施している。本 FD の参加者には各自ノート PC やタブレットを持参してもらい、講義室での無線 LAN 接続、LACS を用いた資料配付やアンケート・小テスト等について、学生の立場で実際に体験してもらうとともに、その作成・実施方法について習得させる。
さらに、必携 PC を各教室で利用するための情報環境や、必携 PC 利用に関する講義時同席サービス等サポートサービスについて紹介する。
また、授業設計において必携 PC 利活用のヒントとなるよう、授業での使用事例を紹介する。

８．プログラム構成［題目・担当講師］
(1) イントロダクション（LACS 上の資料へのアクセス－無線 LAN 接続、LACS へのログイン）
(2) 受講者の持参 PC での体験学習
・学生の立場での体験（LACS を利用しての一言コメント提出など）
・LACS でのアンケートや小テストの作成・実施方法の解説
(3) 必携 PC 活用の経験談（情報基礎以外の科目での事例や意見交換など）
(4) 必携 PC の利用環境や ICT 基盤センターによるサポートサービスの紹介

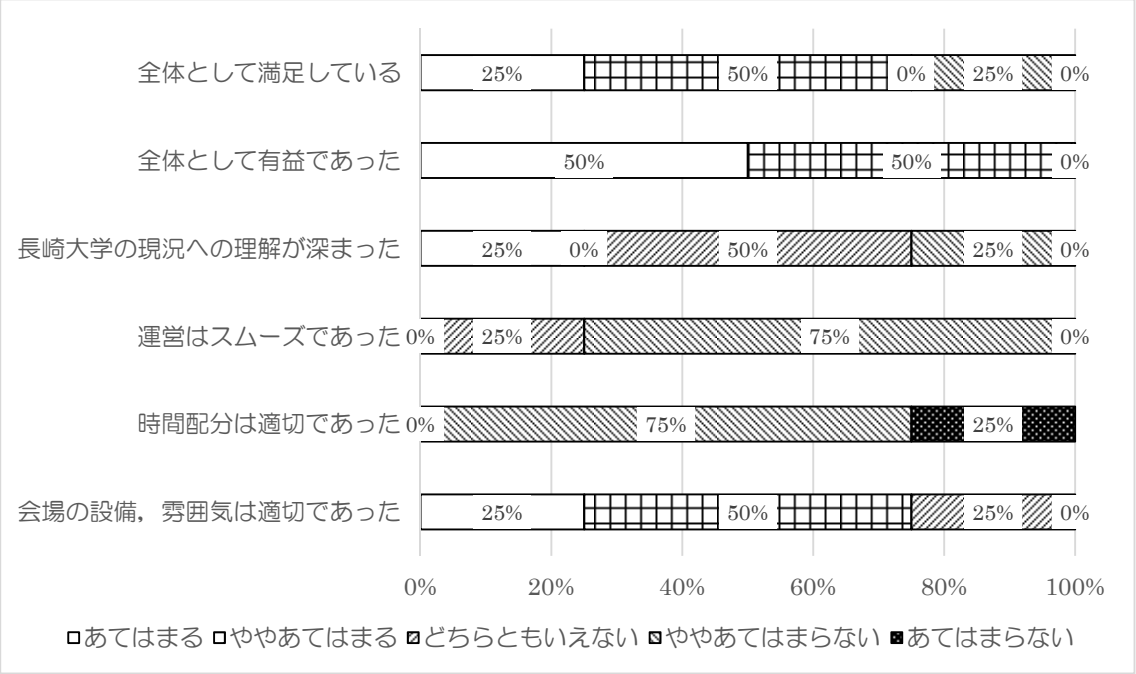
９．参加者：　　２０　名

（内訳）

所　　属	人　　数
長崎大学理事	1
国際教育リエゾン機構	1
経済学部	1
医歯薬学総合研究科	5
工学研究科	3
水産・環境科学総合研究科	3
病院	2
大学教育イノベーションセンター	1
ICT 基盤センター	3
計	２０

１０．実施したＦＤの成果等

（１） 参加者からの評価



（回答者：４名）

●今回参加なさって、何か感想や意見がありましたら、ぜひ率直にご記入下さい。

・　お疲れ様でした。
　内容が豊富にも関わらず、時間が限られているためか、ショートカットが多く、進行に中々について行けませんでした。

・　講師の先生の努力が伝わってきました。しかし、必ずしもPCを持参しなくていい（スマホやタブレット）とも思います。
　また、小テストや時間制限でコメント・意見を入力する場合に、PCのスキルを評価に入れても良い科目と、そうでない科目があるように思います。
・　LACSの使い方事例という意味では、とても有意義でした。

●内容面・運営面のいずれでも、何か改善を要する点にお気づきでしたら、ご記入下さい。
・　PCの接続で毎回時間を使っています。PCの接続を確認した後に席に着かせるなどの工夫がいるのでは？
　資料配付はLACSでかまわないと思いますが、PCの初期設定や、LACSの中のコンテンツの場所などはA４　１枚にまとめて資料配付した方が、運営がスムーズになると思います。
　また、今回の内容では1時限内に治めるのは無理だと思います。最初から2時間の設定が必要だと思いました。
　若菜先生が説明された資料は見つかりませんでした。できれば、柳生先生が作られたものの中に入れて頂けると有り難いです。

●今後、ＦＤ・ＳＤのテーマや実施方法などに関して何かご希望がありましたら、ご記入下さい。
・　PC必携化に関して理系科目への適用とその効果に関する講演があるとありがたいです。

（２）総　括

本FDは、8月に実施したサマーワークショップ「体験するPC必携化～今教室の中で何ができる!?～」の続編であり、本年度より実施されたPC必携化及び必携PCを授業の中でどのように利用していくかを理解していただくためのFDである。8月のFDでは、教養ゼミナールでの使用事例を紹介したが、フィードバックシートにおいては一般の授業でどのように必携PCを利用させるのかをもっと知りたいとのリクエストが多くあった。

このため、今回のFDは、本来3月に予定していた実施時期を前倒しし、後期のモジュール科目での使用事例を 3 名の先生に御紹介いただいた。使用事例はグループワークを主な形態とするもの、座学での授業を中心とするなど授業スタイルはそれぞれ異なる。

事例紹介においては、紹介いただいた先生に御了承をいただき、単にプレゼンテーション・解説いただくのではなく（モジュール科目小委員会でも話題となっていたが）各先生が実際の授業で用いられているLACSの「授業（コース)」を公開いただいた。参加者の方々にはそれぞれPCを持参いただいたので、事例紹介を聞きながら実際にその授業（コース）を見ることができ、また、その場でディスカッションや個別のフォローがなされるなど、効果的な形態であり参加者の方々には有意義であったのではないかと考える。後述の理由により、フィードバックシートの回答数が少ないため、統計学的に意味のある結論は出せないが、全体として満足している、全体として有益であったの設問では高い評価をいただいているものと考える。

一方で、当初の予定を前倒しし授業期間中に実施したため、参加者の方々の参加可能な時間を確保する観点から、5限目1コマのみとしたため、事例紹介やディスカッションがアクティブになされたとは言

え、予定の時間を超過しての終了となった。また、本FDではフィードバックシートについても、LACSでの入力とさせていただいたが、フィードバックシートの入力方法について十分な説明時間がとれなかった（後日 LACS の連絡事項機能を用いて各参加者の方々に説明のメールを送信している)。時間配分は適切であった等の設問や自由回答においては、厳しい御意見を頂戴している。3月に次の開催を予定しているが、次回開催においては、FD コンテンツ（内容）や時間配分の精査を行い、また、より多くの方に御参加いただけるよう、開催日程等を検討したい。

１１．実施代表者の連絡先

部　局：ICT基盤センター
職　名：助教　　氏　名：柳生　大輔
e-mail：d-yagyu@nagasaki-u.ac.jp　　内　線：2220

１２．申請者の連絡先

部　局：学術情報部情報企画課
職　名：主査　　氏　名：松尾　信次
e-mail：matsuo@nagasaki-u.ac.jp　　内　線：2221